



# 「りんご」研究所参観デー開催

県南果樹部 (五戸町)

9月12日(金)に県南果樹部参観デーを開催し、来場者数は昨年並みの420名でした。

「大粒系ブドウの樹勢の違いと品種について考える」と題した圃場講演会には約50名が参加し、大粒ブドウの樹勢の違いや、樹勢が強すぎる場合の対策、品種特性や栽培のポイント等について興味深く聞き入っていました。



大粒系ブドウについて説明する菊池研究管理員

また、本年もクイズラリーを実施し、好天に恵まれ来場者からは、果樹園の中を歩くのが楽しかった、来年もまた参加したいといった声が寄せられ、大変好評でした。

栽培部・品種開発部・病害虫管理部 (黒石市)

9月18日(木)に1500人が来所していただき盛大に行われました。

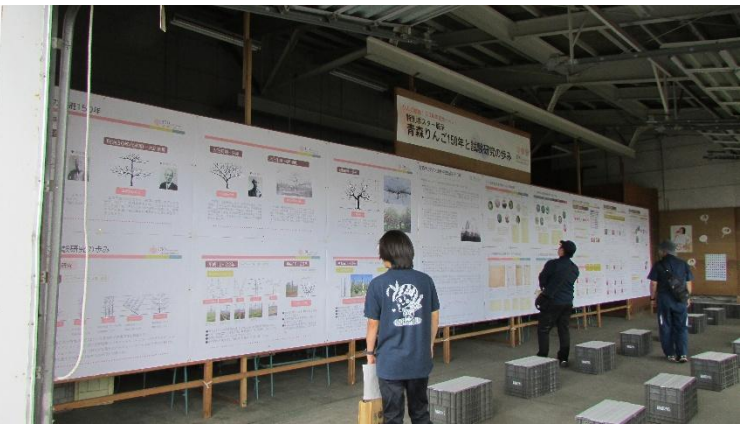


史料館前に並ぶ出店

特別ポスター展示では、栽培部は普通栽培における自然円錐形仕立てから開心形に至った樹形の変遷とわい化栽培の試験研究について、品種開発部は、明治時代の「国光」、「紅玉」など7大品種から現在の「ふじ」、「つがる」などへの変遷と品種開発について、病害虫管理部は、時代ごとの発生病害虫とそれらに対応した防除暦の変遷について展示しました。また、ほ場見学ツアーでは各ポイントでの研究員の説明に多くの人が聞き入っていました。



高密度植栽培の説明をする小林主任研究員



樹形、病害虫防除、品種の変遷をポスター展示

りんご座談会 (黒石市)

葛西研究管理員の進行で、企業の経営で高品質なりんごを大規模に生産している(株)RED APPLEの赤石淳市氏、家族経営を主体に味にこだわったりんごづくりを続けている工藤正彦氏、生産と指導の兼業で効率的なりんごづくりを実践している工藤貴久氏の3名により「りんごづくりの未来像を語る」と題してりんご生産のあり方や試験研究への要望など語り合いました。



冒頭、りんご生産の現状などを説明する葛西研究管理員

【編集後記】  
今回は、9月に開催された2つのイベントを記事にしました。  
青森りんご植栽百五十周年という大きな節目の年に立ち会えて感慨深いです。(F)